

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス シュエット北小金教室		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 11日		～ 2026年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間のコミュニケーションを重視し、意見を出しやすい環境が整っている点が強みである。日常的に上司へ相談や改善提案が行える体制があり、現場の課題を共有しようとする意識が高い。	職員間での声かけによる清掃・支援改善 スペース確保の工夫(テント・囲い等)	職員教育の体系化 職員が意見を出しやすい環境づくり
2	個別支援計画の作成やアセスメントについては適切に実施されており、支援の方向性が整理されている。		支援の標準化
3	保護者との関係性は良好であり、連絡帳・送迎時の対話などを通じて共通理解を図る取り組みが行われている。	支援記録・連絡帳による情報共有	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	比較的スペースが狭く感じられ、個別対応スペースなどの確保が容易ではない。 状況によって児童との丁寧な関わりが難しい状況が発生してしまう。		職員配置の最適化 役割分担の明確化 スペースの見直しと個別スペース確保
2	清掃状態のばらつきや、記録や連絡のばらつき、支援のばらつき等、個人差がある。 また、PDCAなど振り返りの機会が少ない。	環境・人員体制に改善の余地あり 仕組み化が不十分	清掃基準の統一 記録・連絡方法の統一 振り返り時間の確保 計画→実施→評価の流れを明確化
3	関係機関との連携や保護者交流の機会が不足している		関係機関連携強化や保護者支援(研修・交流)の実施